

第114回『脱原発八千代ネットワーク』定例会のお知らせ

福島事故から12年目を迎えようとするなか、2月度の定例会を2月25日(土)に開催いたします。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

プログラム

- (1) 原発問題をめぐる動き(2月報告)
- (2) 原発・エネルギー政策の現状と問題点

福島事故12年目を前に、2月10日、岸田政権は原発回帰政策に大きく舵を切るGX(グリーントランスフォーメーション)方針を閣議決定しました。政府は地球温暖化対策とウクライナ情勢に端を発した化石エネルギー供給不安を口実に、①原発の再稼働を推し進め、②次世代革新炉の新設と建替えを進め、③原発運転期間の延長を認めるものです。私たちは、カーボンニュートラル社会の早期実現に向けた変革には賛成ですが、原発をその手段のひとつとして利用することには反対です。

続けて、2月13日、原子力規制委員会は60年を超える老朽原発の運転を可能とする法改正を容認。安全性の面から反対を表明した石渡委員の主張を封じ込める多数決をもって容認を強行しました。福島事故の教訓と反省によって設立された原子力「規制」委員会が「推進」に屈服した瞬間でした。

今回は、この間の動きをおさらいする中で、国が進めようとしている原発・エネルギー政策の問題点について考えてみたいと思います。

なお、開催にあたっては、引き続きマスク着用、離間距離の確保、消毒、換気などのコロナ感染防止の注意を十分に行なっていきますのでご協力を宜しくお願い致します。



記



日時：2023年2月25日(土) 10:30 ~ 12:30

場所：八千代市市民会館 3階 第2会議室

八千代市萱田町728

参加費：200円(会場費用と資料代)

どなたでも気軽に参加できます。

連絡先：川井康郎

E-mail：PFA00532@nifty.com

TEL：090-7278-1840